



事業の概要

高知県内において、県民それぞれが暮らしの中で『自然の豊かさ』をどれくらい実感しているのでしょうか。

「高知は自然豊か」という言葉がどれだけ身近にあるのか考えるきっかけとして、また、自然環境の脆弱性を意識できるようなことを目的として『自然の豊かさ』を感じてもらおう『暮らしの中の自然モノサシ市民調査』という手法の開発と実践をめざしています。

この「市民調査」とは、専門性の高い学術調査ではなく、日常の暮らしの中で気づいた自然との関わり、あるいは意識を報告するものを主体としています。

『山・川・里・海』それぞれのフィールドと暮らしの接点を探り、暮らしの中で接することのできる生きもの・風物・習慣等を『モノサシ』として指定する為、各々の暮らしの中での発見データを地域でのワークショップなどにより収集し、高知県における『豊かさ』の尺度を議論していきます。これらの調査は最終的に生物多様性、気候変動といった要素も踏まえながら、高知県における『自然の豊かさ』のあるべき姿をみなさんと共有することを目標としています。



お知らせ

特設ホームページやフェイスブックなども開設しております。ぜひご覧ください。
地域でのワークショップ開催や取り組みへの参加などなどのお問い合わせもこちらからお願いいたします。


ホームページ 「暮らしの中の自然モノサシ」

<http://sizenmonosasi.org>

Facebookページ 『暮らしの中の自然モノサシ市民調査 高知』

<https://www.facebook.com/sizenmonosasi>



 コラムを寄稿して下さったみなさんに心より御礼申し上げます。

冊子に掲載しきれなかったコラムも随時「暮らしの中の自然モノサシ」ホームページ上にて掲載して参りますので、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

 illustration: ©火風水埜 尾崎絵楼

 制作 暮らしの中の自然モノサシ実行委員会

 デザイン 谷川 徹 (農と生きもの研究所)

認定特定非営利活動法人 環境の杜こうち:平成18年3月設立。

環境活動のネットワークを築き、広げて、高知県内の環境活動団体が協力し、高知県民が郷土の自然に対して誇りと愛着を持つことができる、高知らしい循環型社会の実現をめざして活動しています。

環境に関わる自主事業に取り組むほか、高知県委託事業として「環境活動支援センターえこらぼ」の運営や、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく高知県地球温暖化防止活動推進センターの指定を受け、環境活動団体の支援、県民の環境活動や環境学習の場づくり、機会の提供を行っています。